

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.4	BEEランク	B ⁺
建物名称	月寒東小学校	総合評価	★★★★★☆☆		
建物用途	学校				
延床面積	7,220.84 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★☆☆
	省資源等	★★★★☆☆
	緑化	★★★★☆☆
	雪処理	★★★★☆☆

レーダーチャート

この建物は特に
省エネルギー性能
が優れています

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー		合計 17点 / 24点	
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0
		LR1 効率的運用	スコア 2.0
B 省資源等		合計 14点 / 23点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 2.0
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0
C 緑化		合計 8点 / 16点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0		
D 雪処理		合計 2点 / 3点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー		
<ul style="list-style-type: none"> ・南面に庇を設けて夏場の室温上昇軽減に配慮 ・外断熱工法を採用し、開口部にはLow-Eガラスを採用 ・屋上に太陽光パネル(30KW)を設置。発電による自然エネルギーの有効利用 		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
<ul style="list-style-type: none"> ・熱源設備において温熱負荷低減に有効な木質バイオマスボイラーを採用 	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市緑の保全と創出に関する条例の基準値を上回る緑化計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期の雪害を考慮し昇降口上部に庇を設置している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される